

供述調書作成用覚書

住居 東京都練馬区平合1丁目2-17

(電話 070-7888-1808)

職業 無職

(電話 03-5828-0122)

氏名 滑川 友梨香 (なめかわ ゆりか)

1983年 5月 29日生 (26歳)



上記の者は2010年 1月 9日午前9時 21分、増長寺事務所において、
本職に対し、任意次のとおり供述した。

高尾：午前9時21分、これからお話を伺わせていただきます。山梨県警捜査一課の高尾といいます。お名前は滑川ユカリさんでよろしいですか？

滑川：友梨香です。

高尾：友梨香さん。失礼しました。まずは記憶が新しいうちにお伺いしたいのですが、昨夜8時半から10時半くらいのあいだ、何か物音などを聞いたような覚えは？

滑川：わかりません。ずっと部屋にいたんで。え、住職さん、その時間に殺されたんですか？

高尾：それはお話しできません。

滑川：だってアリバイですよ、いま訊いたの。そっか、その時間に殺されたんだ……（しばし何事か考え）
なら、あたしアリバイある。

高尾：それは、どういった？

滑川：動画、これ。

（その場で本職がスマートフォンの動画を確認→後にメール送信にて動画を提出。証拠物件No.22参照のこと）

高尾：なるほど、これは自室で、お一人で撮られたものですね？

滑川：そう。日付、ここ、1月8日午後9時25分ってなってるでしょ。あたしがちゃんと部屋にいたっていう証拠。

高尾：9時25分に部屋にいたという証拠にしかありませんが……ところで今回行われていた『真呼吸の会』というの、スマートフォンなどの所持は禁止されていたと聞いたのですが？

滑川：ないと生きてけないから、こっそり持ってたんです。とにかくゆうべは部屋でその動画を撮って、そのあとすぐ寝ちゃったから何もわかりません。

高尾：参考までに、先ほどの動画は何のために撮ったんです？

滑川：え……（しばし沈黙）べつに、意味とかわかりません。

高尾：なるほど。では、ほかの方々からお話を伺わなければならないので、まずは手短かにいかせてもらいます。昨夜は亡くなった三垣宗純さんと、副住職の瀬田浄真さんのほかに、男性が2名、女性が3名、この寺にいました。「真呼吸の会」に参加した5名は、あなたも含め、全員が初対面だったということでしょうか？

滑川：そうです。

高尾：お互いのことはまったく知らなかったと。

滑川：最初は知らなかったけど、ときどき喋ったりして、1日でみんなそこそこ仲良くなりました。人にもよるけど。

高尾：というと？

滑川：合わない人っているじゃないですか。あの占い師さんとか、すごい上から（話すの意）だから、あたしちょっと苦手かも。警備員の丸尾さん？ あのおじさんも、なんか夕方の掃除のとき占い師さんのところ行って、本人にずっと文句みたいなの言ってた。

高尾：文句？

滑川：いや内容は聞いてないからわかんないけど、低い声でずっと何か言っていて……占い師さん、顔硬くして、聞こえないふりしてる感じで、あれはさすがにちょっと可哀想だったかな。

高尾：人格についてだとしたら、わざわざ本人に文句をつけるのはよくないと私も思います。……ところで滑川さん、ハンドバッグにずいぶんキーホルダーをつけていらっしゃいますね。

滑川：どれも思い出があって。さすがにいつもはこんなにつけてないんだけど、しばらく家に帰れなくて寂しいから、ぜんぶつけてきたんです。

高尾：思い出というのは？

滑川：彼氏にもらったとか、彼氏といっしょに買ったとか、そういう。

高尾：彼氏さんは、ずいぶんキーホルダーがお好きなんですね。

滑川：ぜんぶ違う彼氏で、キーホルダーが好きなのはあたしです。

高尾：おモテになりますな。

滑川：あたしがモテてんのか、お金持ってるからなのか知らないけど。

高尾：お金。

滑川：あたしじゃなくてパパがね。おっきい会社やってるから。

高尾：参考までに、どんな会社ですか？

滑川：知らないだろうけど、滑川テックイーブン。

高尾：存じ上げず、すみません。後ほど調べてみます。ところでそのキーホルダーの中に、鈴がついたものがありますか？

滑川：え、あったかな（ハンドバッグのキーホルダーを一つ一つ確認する）……ないですね。何ですか？

高尾：いえ、訊いてみただけです。

滑川：なんか鈴が事件に関係あるんですか？

高尾：お答えできません。

滑川：浄真さんが犯人とか？

高尾：……何です？

滑川：鈴といえば浄真さんかなと思って。ゆうべ寝る前に「鈴を聴く会」っていうのがあって、お寺の外にみんな集まって、真っ暗な中で鈴の音を聴いたんです。浄真さんが持ってきた鈴なんですけど、煩惱を払ってくれるとかいうやつで、すごい綺麗な音がしました。

高尾：形や大きさは？

滑川：どちらかというと鈴というよりベルっていうか、けっこう重い、おっきいやつです。樺みたいなのがついた、このくらいの（手の指で卵ほどの大きさを示す）。

高尾：……そうですか。

滑川：あたし「鈴を聴く会」の最後にちょっとさわらせてもらったんですけど、浄真さんに言えば、刑事さんもさわらせてもらえると思いますよ。

高尾：必要なら、そうします。

滑川：あそうだ、そういえば、あたしが浄真さんの鈴をさわってる時、あの占い師の人に舌打ちされたんですよ。もしかして浄真さんのこと気になってたりするのかな。初日で一目惚れみたいな。刑事さん、調べてみてくださいよ。

高尾：それは我々の仕事ではないので。……では後ほどまた何かあればお伺いします。できれば自室にいらしてください。ありがとうございました。

前同日 山梨県 富士吉田 警察署

司法警察員

警部補 高尾克也

